

自動点呼の実証実験について

令和3年度 第1回「運行管理高度化検討会」

自動点呼の導入の検討スケジュール

自動点呼の導入

点呼支援機器が点呼における確認、指示項目の一部または全てを代替できるよう、機器の要件を検討。



(令和3年度前期)

点呼支援機器の乗務後点呼における実証実験を開始。

(令和3年度後期)

実証実験の結果から、点呼支援機器に係る認定制度を検討。

本日
(検討会#1)

検討スケジュール	令和2年度	令和3年度			
	3月	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月
検討会	<ul style="list-style-type: none"> 検討会キックオフ 検討スケジュールについて議論 	<ul style="list-style-type: none"> 乗務後点呼支援機器の性能評価方法の取りまとめ 実証実験の内容の決定 		<ul style="list-style-type: none"> 乗務後点呼支援機器の認定制度案 乗務前点呼支援機器の性能要件案の取りまとめ 	
ワーキンググループ		乗務後点呼支援機器の性能評価方法の検討	乗務前点呼支援機器の性能要件及び性能評価方法の検討	乗務後点呼支援機器の認定制度の検討	
事業者 (実証実験)			乗務後点呼の実証実験1次期間 (運行管理者あり)	乗務後の自動点呼の実証実験の開始を決定 乗務後点呼の実証実験2次期間 (運行管理者なし)	
					実験結果の評価

自動点呼の実証実験の概要について

目的

- 実証実験を通じて、乗務後の自動点呼に係る機器性能要件案及び性能評価方法案をとりまとめる

使用機器

- 点呼支援機器として、ナブアシスト社のTenko de Unibo(※)を使用。

(※)様々なデバイスとの連携により、本人確認、酒気帯びの確認、予め設定した指示事項の表示、報告事項の音声入力等が可能。



進め方のイメージ(案)

①乗務後点呼における確認・記録項目 ※「★」は法令上必要な点呼項目		②想定される機器要件(案)	③ユニボにおける確認方法
確認項目	★本人確認	今後検討・精査	顔認証機能及び免許証リーダーによるなりすまし防止
	★車両・道路・運行状況確認		音声記録・文字起こし通知機能
	★酒気帯び確認		アルコールチェッカーと連動
	携行品回収		服薬、安全带、許可証等、任意に設定可能。キーボックスとも連動。
	積荷状況・苦情等確認		音声記録・文字起こし通知機能
	勤務確認		改善基準告示に遵守した管理が可能(オプション)
記録項目	★点呼時の確認事項等		点呼記録簿の自動作成・保存

➡ 実証実験の結果を通じて、Uniboの確認方法を基準に、点呼項目ごとにより厳しくすべき性能、緩めてよい性能等を明確化し、「②想定される機器要件案」を精査していくこととする。

自動点呼の実証実験の概要について

具体のスケジュール案

- 1次期間: 1か月間程度(9月頃を想定)、運行管理者が同席の上で運用とする。
- 2次期間: 2か月間程度(10月～11月頃を想定)、乗務後点呼時に運行管理者が原則として同席しない状況で運用する。

具体の検証方法案

- 以下の事項等を事業者ヒアリングし、一定期間ごとに検討会に報告することとする。
 - ✓ 乗務後点呼項目毎に「対面点呼と比較した」确实性の優劣、またその理由
 - ✓ 実験中に発生した問題、対処内容
 - ✓ 自動点呼導入による効果(運行管理者、運転者の勤務時間等) 等

対象事業者の選定方法案

- 制度化にあたって、多様な運行形態で検証する必要があることから、以下の観点・切り口を踏まえ各業界団体(日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー連合会、全日本トラック協会)から推薦することとする。

業態	選定にあたって考慮する観点・切り口(例)
バス	乗合(一般路線)/乗合(高速路線)/貸切、事業規模大小(運転者数または保有車両数)、都会/地方
タクシー	流し/車庫待ち、タクシー/ハイヤー、事業規模大小(運転者数または保有車両数)、都会/地方
トラック	長距離/短距離/ルート配送、事業規模大小(運転者数または保有車両数)

業界団体から推薦のあった事業者について

バス

	事業者(案)	拠点	実証実験対象とする主な運行形態
1	神奈川中央交通	神奈川県	乗合(一般路線)・貸切・特定
2	伊那バス	長野県	乗合(一般路線)・乗合(高速路線)・貸切
3	神姫バス	兵庫県	乗合(一般路線)・特定
4	伊予鉄南予バス	愛媛県	乗合(一般路線)・乗合(高速路線)・貸切
5	西日本鉄道	福岡県	乗合(一般路線)・貸切

タクシー

	事業者(案)	拠点	実証実験対象とする主な運行形態
1	日本交通	東京都	流し、タクシー・ハイヤー
2	第一交通産業	福岡県	流し・車庫待ち、タクシー
3	山三交通	東京都	流し、タクシー
4	実用興業	東京都	流し、タクシー

トラック

	事業者(案)	拠点	実証実験の対象とする主な運行形態
1	東亜物流	東京都	短距離・ルート配送
2	青葉運輸	東京都・千葉県	長距離・短距離・ルート配送
3	協同運輸	東京都	短距離・ルート配送
4	エービーカーゴ東日本	千葉県・埼玉県	短距離
5	東海西部運輸	愛知県	長距離
6	SAロジテム	愛知県	長距離
7	<small>たいこう</small> 大広	愛知県	短距離・ルート配送
8	山陽自動車運送	大阪府	長距離・短距離
9	オーティەرロジサービス	大阪府	長距離・短距離
10	関西トランスウェイ	大阪府	ルート配送

論点① 実証実験の進め方について

乗務後の自動点呼に係る実証実験について、P2・P3で示した進め方及び検証方法は適当か。

論点② 実証実験の実施事業者及び運行形態について

乗務後の自動点呼に係る実証実験について、P4・P5で示した事業者及び運行形態による自動点呼を今後の調査対象として決定することは適当か。